

VOL.2

2025.7.31 発行

YOKO CHALLE

現場紹介

～知恵と工夫と話し合いで乗り越える～

横関社長自ら、当社の施工事例をご紹介！「信頼される企業集団」を目指す上では、どのようなご要望にも誠意を持って対応することが求められます。困難が差し迫ったとき、横関建設はどのように立ち回るのでしょうか？

代表取締役

よこぜき じゅんいち
横関 順一さん

CASE1 工事概要

工期 令和6月12月から令和7年4月

工事内容 薬品関係を取り扱うA社様が、薬や食材などを販売するための店舗を建設。基礎から鉄骨、外壁、外構に至るまで当社が担当した。



本件ならではの現場の特徴

常識を覆す工夫で工期短縮に成功

この現場で私たちを悩ませたのが、通常より1～2か月は短い工期でした。当社が受け持つ所掌が非常に広い上に、鉄骨の加工も遅れ気味。この窮地を救ったのが、現場監督の機転です。本来は終盤に行くはずの土間工事を先に持ってくるという、工程変更を実行。そして、外構工事も3つのパートに細かく分解。順番を変えたり工区分けを行ったりして、何とか工期に間に合わせました。

コミュニケーションの難しさ

現場の周囲に目隠しフェンスを設けて施工を進めていたところ、隣接敷地の住民の方から「聞いていた話と違う」とクレームが入りました。開発許可を受けた当時に承認を得ていたようですが、「うちの妻がダメだと言っている」というご主張。最終的にはご要望通りのフェンスに変えて解決しました。「住民さんとの関係づくりは本当に難しい」と、改めて実感しました。

お客様の反応

期待に応えた末の称賛

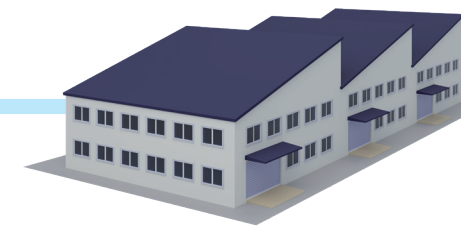
本件の工期が短かったのは、全国展開するほどのA社の事業規模が関わっています。おそらく別のエリアで、「これくらいで完成するだろう」という目処をつけていたのでしょう。しかし、実際に着手してみて、「これはさすがに短かった」と感じたのだと思います。完成後には、「短い工期でよくやってくれました」とお褒めの言葉をいただきました。



CASE2 工事概要

工期 令和1年3月から9月まで

工事内容 医療品を製造するために、工場内の倉庫をクリーンルームへと改修する工事。天井パネルの新設や内装の刷新を行い、無菌空間へと仕立て上げた。



本件ならではの現場の特徴

横関建設による設計・施工

お客様からのご要望を受け、当社の設計で進めることになりました。昔ながらの倉庫だったため、床から壁、天井に至るまで一新する大工事です。空調や給排水・ダクトの設置や、導線づくりに四苦八苦。「菌がない」という環境を構築するのが大変でしたが、目標としていた「クリーン度10万」を超える仕上がりに。無事に竣工を迎えてホッとしました。

お客様の反応

新たな生産施設にご満悦

荷物を置くだけだった倉庫から、どこから見ても清潔できれいなクリーンルームへ。しかも、外壁からパネル越しに内部が視認できる仕様です。お客様とは何回も打ち合わせを重ね、そのたびに設計に反映する大仕事でした。現在に至るまでトラブルもなく、順調に稼働していると聞いています。良い製品が生産できているようで何よりです。

現場の皆さんへ メッセージ

これからの季節は熱中症にご用心！スタミナのつく食事を摂り、体調維持に努めましょう。また、その際はメンタルにもご注意を。悩みを抱えず相談し、心身ともに万全の状態で臨んでください。



プロフェッショナル

の流儀

土木部の遠藤さんは「綺麗な仕事」を信条としています。それは単なる美しさではなく、緻密な計算や安全性が凝縮されたもの。見えない土台に込められた職人の哲学と、長年の経験に裏打ちされた遠藤さんの仕事の流儀に迫ります。



土木部
遠藤 幸彦さん
えんどう ゆきひこ

仕事の大変さと難しさ

経験則がものを言う、段取りの重要性

夏の暑さや冬の寒さに加え、仕事の段取りを全て自分で考える点を難しいと感じます。例えば、基礎の型枠組みは、決まった寸法の金枠を使うため、順序を計算しないと最終的に合いません。この感覚は経験でのみ養われるため、繰り返し実践して身体に覚え込ませることが重要です。

記憶に残る失敗談

失敗が教えてくれた、より確実な工法

擁壁の増し打ち現場で型枠をパンクさせた過去の失敗が忘れられません。古いコンクリート壁にコンクリート釘が全く効かず、生コンを流した途端に型枠が弾け飛んでしまい、全て組

これまでの経歴

決断が拓いた、この10年

この会社には50歳の頃に入社し、今年で10年になります。前職も同じ建設業界で、設備と土木の仕事を担当していましたが、遠方の現場が多く、長時間の運転で腰を痛めてしまいました。身体への負担を考えて、自宅近くにあり経験を活かせる当社に転職しました。入社してからは土木部に所属し、建物の基礎工事に携わっています。

コンクリートの圧を読む、型枠の繊細な調整

若い職人がハッカーの使い方に苦労するように、作業の数をこなして覚えるしかありません。また、ベテランでもコンクリート打設時の側圧計算は難しく、高さのある壁では下方に強い圧力がかかるため、補強(セパ)のピッチ調整が不可欠です。この見極めを誤れば型枠が壊れ、全てが無駄になってしまいます。



み直すことになりました。この苦い経験を教訓に、より確実な工法を学びました。今では硬い壁にはドリルで下穴を開けて「コンクリートビス」で固定する方法を確立し、若い職人にも教えています。

仕事で大切にしていること

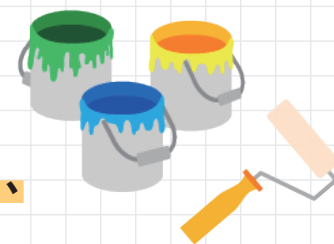
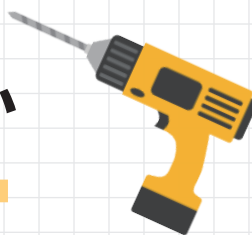
「綺麗」は「質」の証、 見た目に宿る合理性

毎朝の作業確認を欠かさず、そのうえで技術的に最も大切にしているのが「綺麗な仕事」です。単なる見栄えの問題ではありません。例えば、型枠の補強材の配置にはセンスが問われます。レイアウトの美しい仕事は、構造上の理にかなっているため、決してパンクしないのです。見た目の「綺麗さ」は、仕事の「質」を証明するものだと考えています。

仕事のやりがい

困難な現場ほど燃える、 お客様の喜びが原動力

苦労が「形」として実を結び、成果が目に見えることが、この仕事の醍醐味です。特に記憶に残っているのが、5～6年前に手掛けた個人宅の擁壁工事。隣家と1mしか離れておらず、3mの高低差がある難所でした。重機から土がこぼれて隣家を傷つけないよう細心の注意を払うなど、非常に神経を使う現場でしたが、完成時にはお客様が心から喜んでくださいました。その姿を見て、本当にやって良かったと感じました。



まずは素直に真似ること、 それが成長への近道

まずは言われた通りに真似てみるのが大切です。私が若手に指示を出すときは具体的に手順や方法を示します。そうして、その通りにやって失敗したときの責任は、私が全て負います。しかし自己流でやられては責任の取りようがありません。一見、遠回りのようでも、先輩のやり方を素直に真似ることが、成長への一番の近道になるでしょう。

今後の目標

「綺麗な仕事」の真髄を次の世代へ

若手も一人前に育ってきたため、私の技術や知識を余すことなく伝えていきたいと思います。前職で得た溶接や酸素での切断といった幅広い知識も、応用が利くはずだと考え、若手に教えています。そして、私の信条である「綺麗な仕事」の真髄を、次の世代へしっかり受け継いでいくことが今後の目標です。

心をつなぎ、現場を作る

現場代理人 茂呂さんの1日

建設現場の司令塔「現場代理人」として、多くの専門職人をまとめる土木部の茂呂さん。
大切にしているのは、円滑な進行の鍵となる「情報共有」と、相手を思う「コミュニケーション」だと話します。
社内最大規模の現場を任された今、責任感を胸に奮闘する1日に密着！



土木部
もろ ひろのぶ
茂呂 宏信さん

現在の業務内容

現場をまとめ、作業をスムーズに進める段取り役

下妻市にある市役所の解体工事現場で、現場代理人を務めています。主な業務は、協力会社の方々との打ち合わせや進捗確認、図面に基づいた施工チェックなど、現場全体の管理です。各専門分野の職人の方々がそれぞれの持ち場で最大限の力を発揮できるよう、環境を整えるのが私の役割です。



仕事で心がけていること

重要なのは「情報共有」と「相手目線」

大切にしているのは「情報の共有」です。多くの人に関わる現場では、情報の齟齬が作業の重複や遅延に直結するため、朝礼だけでなく現場での声かけを徹底しています。きっかけは、大学時代の委員会活動で「そんな話は聞いていない」という問題が起きた経験がきっかけです。

もう1つは「相手の目線に立ったコミュニケーション」です。実際に作業する人の状況やペースを考慮することも大切だと考えています。指示を出す立場ではありますが、一方的にならないよう、職人の皆さんとは雑談も交えて話しやすい関係を築くように努めています。この積み重ねが、現場の円滑化につながると信じています。

この仕事の魅力とやりがい

携わった建物が完成したときは、大きな達成感を得ることができます。以前担当した消防署の改修工事で、お客様から「茂呂さんが担当してくれた現場は良い出来で助かったよ」という感謝の言葉をいただいたときの喜びは今も忘れられません。

今後の意気込み

現場代理人としてはまだ2年目ですが、現在担当しているのは社内最大規模の解体工事。この現場を任せていただいたことに対し、大きなプレッシャーを感じるとともに、信頼への感謝と喜びで身が引き締まる思いです。期待に応え、成長を目指します！

1日の流れ

7:30

始業 現在の現場では8:00から朝礼を行っています。その日の作業内容や注意事項などを共有し、現場全体の意識を統一することから1日が始まります。

12:00

昼休み 妻が作ってくれたお弁当や購入したものを食べます。残った時間は、ネットニュースを見たり、趣味のバイクのパーツを探したり。

13:00

業務再開 午前中と同様に、現場巡回や工事状況のチェック、写真撮影などを行います。

16:00

事務作業 事務所に戻り、報告書や図面の作成、見積もり依頼への対応などを行います。最後に、現場の状況を社長に報告して1日の業務は終了です。

18:00

退社

建物の価値を高める 「構造」を徹底解説

建物の価値は「構造」で大きく変わります。このコラムでは「ラーメン構造」と「ブレース構造」を徹底比較。開放的な空間づくりが得意なラーメン構造、コストを抑えつつ強度を確保するブレース構造。それぞれの特徴をわかりやすく解説します。

耐震性と快適性の鍵を握る「構造」

なぜ、同じような大きさの建物なのに、間取りの自由度や地震への強さが違うのでしょうか？その答えは、建物を支える「構造」、すなわち骨組みにあります。この構造こそが、地震時の安全性や、大きな窓を設けられるかといったデザインや快適性を直接的に決定づける重要な要素なのです。

柱と梁で力強く支える 「ラーメン構造」

ラーメン構造の「ラーメン」とは、ドイツ語で「額縁」を意味する言葉です。その名の通り、柱と梁を強固に接合することで、地震や風などの水平方向の力に耐える構造です。

構造の特徴

柱と梁で構成された四角形の骨組みが、地震の揺れに対して一体となって作用します。これにより、建物全体でしなやかに揺れを受け流し、倒壊を防ぎます。

メリット

最大のメリットは、設計の自由度が高い点です。壁や筋交いが不要なため、広々とした空間や大きな窓を設けることができ、開放的な間取りを実現できます。オフィスビルやマンションなど、比較的大きな建物をはじめ、様々な用途の建物で採用されています。

デメリット

柱と梁の接合部を強固にする必要があるため、部材が大きくなる傾向があります。これにより、室内に柱や梁による凹凸が出やすいことや、建設コストが比較的高くなることがデメリットです。

筋交いで地震に備える 「ブレース構造」

ブレース構造は、柱と梁で構成された四角形の骨組みの中に、「ブレース」と呼ばれる斜め材を設置することで耐震性を高める構造です。

構造の特徴

地震や風によって建物が水平方向に変形しようとする力を、斜めに設置されたブレースがつかえ棒のように働き、建物の変形を防ぎます。

メリット

ラーメン構造に比べて、より少ない部材で高い強度を発揮できる点が大きなメリットです。これにより、建設コストを抑え、工期を短縮することが可能です。主に、工場や倉庫、体育館といった、広い空間を必要としながらもコストを重視する建物で多く採用されています。

デメリット

ブレースが壁の中や室内に配置されるため、間取りや開口部の設計に制約が出やすい点がデメリットです。大きな窓を設けたい場合など、ブレースの位置を考慮した設計が必要になります。

最適な構造選びが建物の価値を決める

ここまで見てきたように、「ラーメン構造」と「ブレース構造」には、それぞれ異なる特徴があり、一概にどちらが優れているとは言えるものではありません。

デザインの自由度や開放的な空間を重視するならば「ラーメン構造」

コストを抑えつつ、効率的に強度を確保したい場合は「ブレース構造」

このように、建物の用途や規模、求められる性能、そしてコストなど、様々な要素を総合的に考慮し、最適な構造を選択することが重要です。